

かんこく みんしゅろうそう れんたい
韓国・民主労総ゼネストと連帯を

ひ せい き しょくてつばい ちょうせんしんりやくせんそう そ し
非正規職撤廃・朝鮮侵略戦争阻止、

あ べ せいけん だとう
ストライキで安倍政権打倒しよう

とうきょう ひ び や や がいおんがくどう ひら ぜんこくろうどうしやそうけつ き しゅうかい ぜんこく
東京・日比谷野外音楽堂で開かれた 11・1 全国労働者総決起集会は、全国
ぜん せ かい にん だいけつしゅう かんどうてき がつあん ぼ こつ
・全世界から 5700 人が大結集して感動的にかちとられた。7～9 月安保国
かいけつせん かいきゅうてきろうどううんどう る せん つらぬ せんそうぜつたいはんたい こくさいれんたいとうそう きよだい
会決戦は、階級的労働運動路線を貫き戦争絶対反対の国際連帯闘争として巨大
ばくはつ はってん しゅうかい は かい についで あ べ こつ かけんりよく
に爆発、発展した。11・1 集会を破壊するための日帝・安倍と国家権力のあら
さくどう ふんさい ぎやく いか けつき てんか こうあん てきはつ ふんさい たい
ゆる策動は粉碎され、逆に怒りの決起に転化した。公安スパイの摘発・粉碎に対
かんきん ち しょう だんあつ かんぜん ふんさい がくせい ふ き そだっかん
する「監禁致傷」デッチあげの弾圧は完全に粉碎され、4 学生の不起訴奪還を
ぜんがくれん きょう と だい かんてつ しゅうかい
かちとった全学連は、10・27 京都大バリケードストライキを貫徹し、11・1 集会
せいこう けんいん ひ び や やおん かいきゅうてき こくさいしゅぎてき
の成功をも牽引（けんいん）した。日比谷野音にみなぎった階級的・国際主義的
だんけつ かんどう こうふん ただ ぜんこく しょくぼ ちいき がくえん ひろ こくてつげせん どう
な団結の感動と興奮を、直ちに全国の職場・地域・学園に広げ、国鉄決戦と動
ろうそうれんごうけんせつ あら れきしてききよほ ふ だ みんしゅろうそう れんたい
労総連合建設への新たな歴史的巨歩を踏み出そう。民主労総ゼネストと連帯する
がつほうかんとうそう けつき ほしの ぜんこくしゅうかい だいせいこう
11 月訪韓闘争に決起しよう。11・29 星野全国集会の大成功をかちとろう。

につかんしゅのうかいだん せんそうかい ぎ ま こうたいけつ
日韓首脳会談＝戦争会議と真っ向対決し

なに ろうどうしやしゅうかい れきしてきい ぎ き ひら ち へい かくにん
何よりも 11・1 労働者集会の歴史的意義と切り開いた地平についてまず確認
しよう。

だいいち しゅうかい ひら につちゅうかんしゅのうかいだん
第一に、11・1 集会は、ソウルで開かれた 11・1 日中韓首脳会談と 11・2
につかんしゅのうかいだん ま こう こくさいれんたい たいけつ
日韓首脳会談に真っ向から国際連帯で対決してかちとられた。

とく につかんしゅのうかいだん べいてい しりお かいさい つ ちょう
特に日韓首脳会談は米帝オバマに尻押しされてやっと開催にこぎ着けた、朝

せんはんとうゆうじ ちょうせんしんりやくせんそう む せんそうかいぎ がつみつ か じえいたい
 鮮半島有事＝朝鮮侵略戦争に向けての戦争会議だった。11月3日には、自衛隊
 べいぐん へいじ いったいてき うんよう あたら きょうぎ きかん どうめいちようせい
 と米軍を「平時」から一体的に運用するための新しい協議機関＝「同盟調整
 ほっそく せかいだいきょうこう ほんかくてきげきか しんか ていこくしゅぎ
 メカニズム」が発足している。世界大恐慌の本格的激化・深化のもと、帝国主義
 せんご せかいせい るいせき ぜんむじゆん きょくげんてき ばくはつ しんじゆうしゅぎてきていこくしゅぎ
 の戦後世界体制の累積した全矛盾が極限的に爆発し、新自由主義的帝国主義は
 べいてい せんとう せかいせんそう つ すす
 米帝を先頭に世界戦争に突き進んでいる。

ろうどうしゃ そうどういん せんそう なに につかんべい ろうどうしゃ
 しかし労働者を総動員しなければ戦争はできない。何よりも日韓米の労働者が
 た あ ちょうせんゆうじ しんりやくせんそう と かいきゆうてき こく
 ゼネストで立ち上がり、「朝鮮有事」＝侵略戦争を止めるのだ。階級的・国
 さいしゅぎてき だんけつ じく ろうどううんどう あたら じだい はじ
 際主義的な団結を軸にした労働運動の新しい時代が始まった。

だいきょうこう せんそう だいしつぎょう たいち い
 大恐慌と戦争・大失業に対置するものは生きるためのゼネストであり、プロ
 かくめい かんこく みるしゅろうそう こんなん だとう ふくつ
 レタリア革命だ。韓国・民主労総は困難をのりこえてパククネ打倒へ不屈のゼネ
 とうそう た あ みるしゅろうそう しゅうかい べいにちかんたいせい
 スト闘争に立ち上がっている。民主労総と 11・1 集会が、米日韓体制による
 ちょうせんしんりやくせんそう まえ た ぜんさん かしゃ じっかん
 朝鮮侵略戦争の前に立ちほだかっていることを全参加者は実感し、ストライキ
 せんそう と ちか あ
 で戦争を止めると誓い合った。

しゅうかい せかいせんそう いっぽう しょうてん ちゅうとうじょうせい き むす
 さらに 11・1 集会は、世界戦争のもう一方の焦点である中東情勢と切り結
 たい せんそう さんせん がつ とお か ぼくだん しゅうげき くわだ
 んだ。対シリア戦争に参戦し 10 月 10 日の爆弾テロ襲撃を企てたトルコのエル
 せいけん ちゅうにち たいし かん つう たいにち ざいにち じん しゅうかいさん か きんし
 ドアン政権は、駐日トルコ大使館を通じ滞日・在日クルド人に「集会参加禁止」
 つうこく だんあつ おこな さんか
 を通告するという、とんでもない弾圧を行ってきた。トルコから参加した U I
 こくさいろうどうしゃれんたいきょうかい けつごう そし ねら
 D—DER（国際労働者連帯協会）との結合を阻止しようと狙ったのだ。これ
 う やぶ りょうしゃ せんとうてきごうりゅう
 を打ち破り両者の戦闘的合流がかちとられた。

あ べ かん ど ほうもん せんげつ らいにち についで
 安倍はこの間、2度もトルコを訪問し、先月はエルドアンが来日した。日帝に
 いま げんぱつ ゆしゅつ たいちゅうごく たい
 として今やトルコは、原発・インフラ輸出や対中国・対 A I I B（アジアイン
 どうしぎんこう けいざい ぐんじがいこう せんりやくきよてん あ べ けったく
 フラ投資銀行)の経済・軍事外交の戦略拠点だ。安倍とエルドアンが結託した 11
 しゅうかい は かいさくどう ふんさい こくさいれんたい せんそう と はしら う た
 ・1 集会破壊策動を粉碎し、国際連帯とストライキで戦争を止める柱を打ち立

てたことは決定的だ。

国鉄決戦 勝利と動労総連合建設への前進

第二に、11・1 集会は、国鉄決戦が動労総連合建設の推進と外注化阻止・非正規職撤廃闘争をもって、新たな発展を開始する出発点となった。JR採用差別事件の6・30最高裁棄却決定による闘争収束策動を突き破り、今や解雇撤回

・JR復帰の闘いが、国鉄闘争全国運動として不屈に前進しつつある。

国鉄決戦の発展で日帝・安倍を打倒できるという確信を、全集会参加者が打ち固めた。11・1 集会には、安保・戦争法強行、沖縄・福島圧殺、外注化・総非正規職化、労働法制の改悪と労働組合解体に突進する日帝・安倍への怒りが総結集した。7～9月安保国会決戦の爆発も、国鉄決戦30年の不屈の闘いが労働運動の根絶と改憲・戦争国家化への道を阻んできた、その地平の上に実現されたのだ。

全国約50カ所で国鉄集会を成功させ、全学連弾圧を粉砕するために、労働者は大学キャンパスに駆けつけてともに闘った。そして11・1集会の成功によって特筆すべきは、動労千葉、動労水戸、動労総連合が、さらには全日本建設運輸連帯労組関西地区生コン支部と東京西部ユニオン鈴木コンクリート工業分会がストライキに立ち上がったことだ。

4・9政治和解の反革命（国鉄1047名解雇撤回闘争の解体攻撃）に走った体制内労働運動派は破綻・崩壊し、労働運動の新たな分岐と流動化が本格的に始まっている。労働者階級の怒りは沸点に達している。新自由主義が国鉄分割・民営化以来進めてきた攻撃は、今日、外注化と総非正規職化で社会をすみずみ

まで破壊している。この新自由主義に立ち向かう国鉄決戦＝外注化阻止・非正規職撤廃闘争を本格的に推進し、反合・運転保安闘争路線を全産別・全職場で貫こう。

安保・自衛隊容認の共産党は許せない！

第三に、11・1 集会は、体制内指導部とりわけ日本共産党スターリン主義との大党派闘争を闘いぬくことでかちとられた。

共産党は「国民連合政府」なるものを打ち出し、日本が「攻撃」されたら日米安保条約や自衛隊法を活用し、「日米で共同対処する」＝米軍と一体となつて戦争するとまで言い出した。「国民連合政府」は、支配階級・ブルジョアジーの一部とも連合することであり、「民主主義を守れ」と叫んでプロレタリア革命を圧殺する反革命そのものだ。実際に、共産党が「手本」にした1930年代の「人民戦線」は、「ファシズムと戦う」と称してプロレタリア革命に敵対し、その圧殺の上に帝国主義戦争への参戦にも行き着いた。

そしてまさに今、「朝鮮有事」＝米日帝の朝鮮侵略戦争が切迫し、日帝・安倍が集团的自衛権行使のための戦争法を成立させたこの時に、共産党は「愛国主義の党」として階級的労働運動と国際連帯に敵対し、安保や自衛隊を容認する立場を宣言したのだ。これは安保国会決戦に決起した巨万の人びとへの大裏切りである。

この日本共産党スターリン主義を打倒しのみこえて、国際連帯とゼネストで朝鮮侵略戦争を阻止しなくてはならない。

2016年の参院選決戦へ闘いぬく宣言

第四に、11・1 集会は、「許すな改憲！大行動」を先頭に、鈴木たつお弁護士を押し立てて2016年参院選決戦（東京選挙区）を闘うことを宣言した。「労働者階級の新しい革命的政党をつくろう」という訴えが、満場の拍手で確認された。これは階級的労働運動の真価をかけ、労働組合運動と国際連帯のさらなる飛躍をかけての歴史的な挑戦だ。

日帝・安倍の極右的盟友＝日本会議の桜井よしこは「今こそ改憲の好機」（11月2日付産経新聞）と叫んでいる。米帝オバマの「不決断」「迷いと長期戦略の欠如」を激しくなじり、今こそ日帝が「国際社会の秩序維持に強い力を発揮」するための「資格と力」、すなわち「国家の基本を成す2大要素、経済力と軍事力の強化が必要」と叫び、そのために「改憲」をやるのだとうそぶいている。

今や大恐慌・戦争と革命をめぐる一大階級決戦に突入した。国鉄決戦とゼネストと国際連帯の発展でこの大決戦に勝利しよう。

宣伝・扇動戦の圧倒的な変革と飛躍を

そのための階級的労働運動の飛躍と変革、勝利の環と課題はいよいよ明確だ。

第一に、宣伝・扇動の飛躍と変革だ。その軸は機関紙活動である。機関紙は「集団的組織者」だ。来年11月集会の今年を倍する大結集を、『前進』で組織していこう。そのためにこそ、労働者階級の根底的な怒りと結合することだ。

職場・生産点での闘いとオルグの中でそれはかちとられていく。拠点建設と階級の指導部建設の目的意識的な闘いを貫こう。

第二に、「労働運動のできる党」への全力の挑戦だ。この闘いはまだ端緒だが、そのための決定的な環は、動労総連合の全国的建設と合同・一般労組全国協議会の建設だ。どんなに小さな労働組合でも、労働者階級全体の利益と前進の観点に立って闘わなくてはならない。何よりもゼネスト指導部がオルグ集団として駆け巡る民主労総に学び闘おう。

第三に、とりわけ青年労働者、非正規職労働者とともに団結をつくり拡大していく闘いでの変革と飛躍だ。これを目的意識的に地区党建設として闘うのだ。その核心は、マルクス主義での武装と実践である。

団結をさらに固め、勝利に向かって進もう。11月訪韓闘争の勝利へ闘おう。11

・29星野全国集会の成功をかちとろう。